

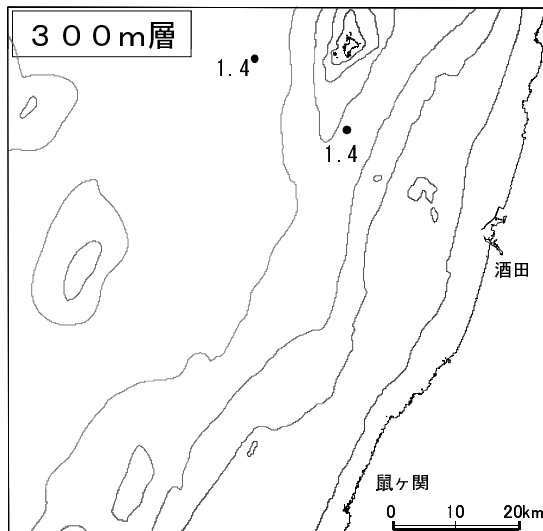
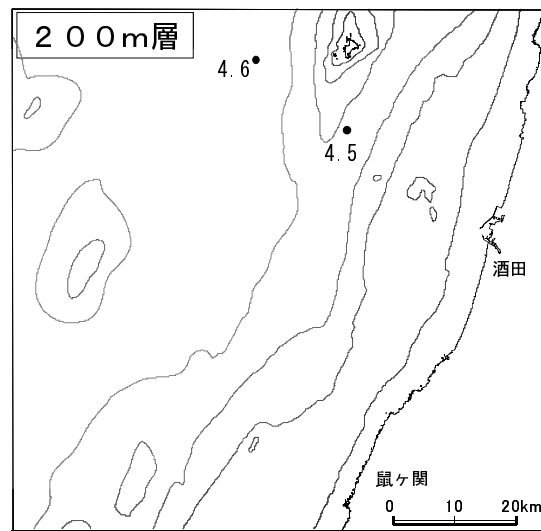
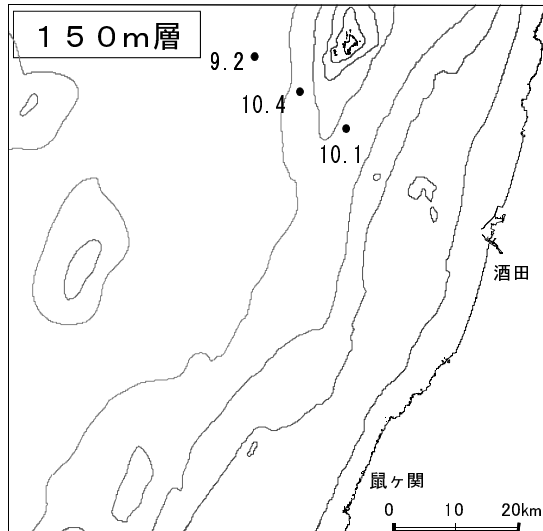
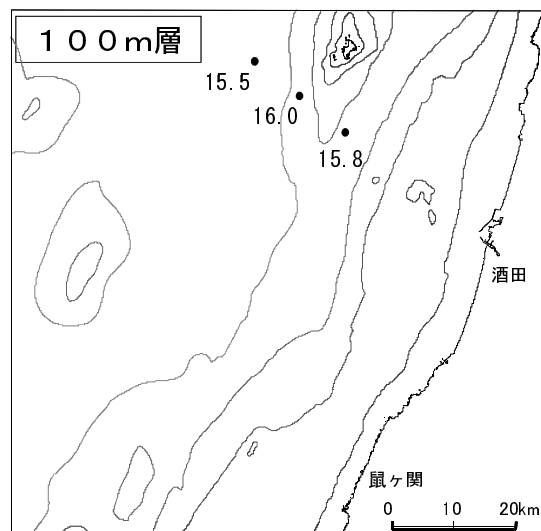
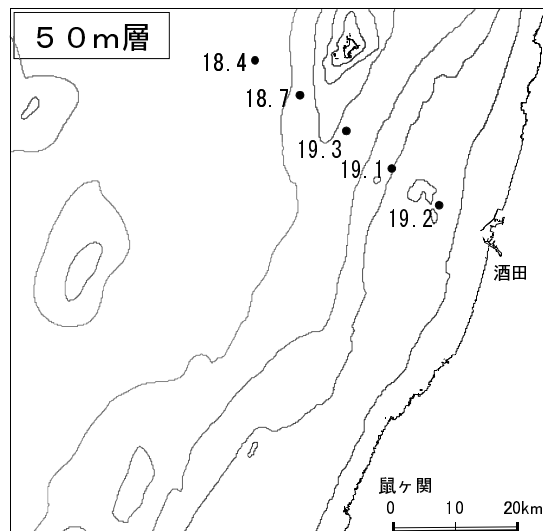
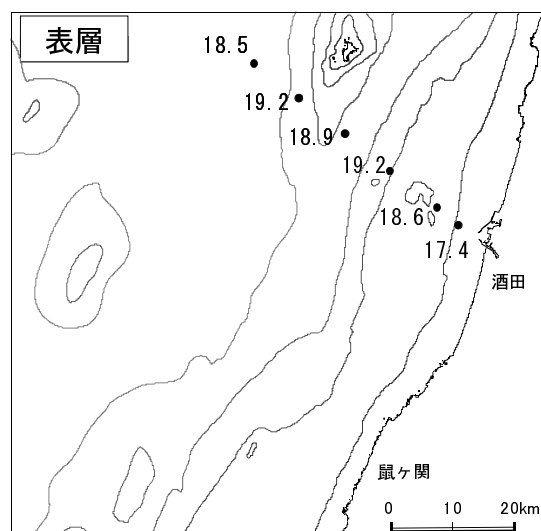
漁海況情報

第509号(平成26年11月5日発行)

発行:山形県水産試験場 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594
TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379
ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

・水産試験場の「最上丸」は、10月31日に沿岸の水溫観測を実施しました。その結果、200m層は「やや低い」、その他の層では「平年並み」でした。

・10月の地先水溫は鶴岡市加茂(水産試験場)、鶴岡市三瀬(栽培漁業センター)ともに「平年並み」でした。



地先平均水溫(10月) 単位:°C

場所	水溫	前年差	平年差	評価
水産試験場(鶴岡市加茂港内)	19.7	-1.5	-0.3	平年並み
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	21.0	-1.7	-0.4	平年並み

各層別の平均水溫(11月上旬分観測値) 単位:°C

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	18.9	18.9	15.8	9.9	4.7	1.4
前年差	-1.4	-0.5	+3.0	+1.2	+0.8	+0.4
平年差	+0.1	-0.1	+0.2	-0.7	-1.3	-0.0
評価	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや低い	平年並み
(前月評価)	(平年並み)	(平年並み)	(平年並み)	(平年並み)	(平年並み)	(平年並み)

評価の表現: "平年並み"は約2年に1回, "やや"は約4年に1回, "かなり"は約10年に1回, "はなはだ"は約20年以上に1回の出現確率を表しています。

大型クラゲ出現情報

(一般社団法人 漁業情報サービスセンターホームページより)

10月24日 長崎対馬で1個体ですが確認がありました。

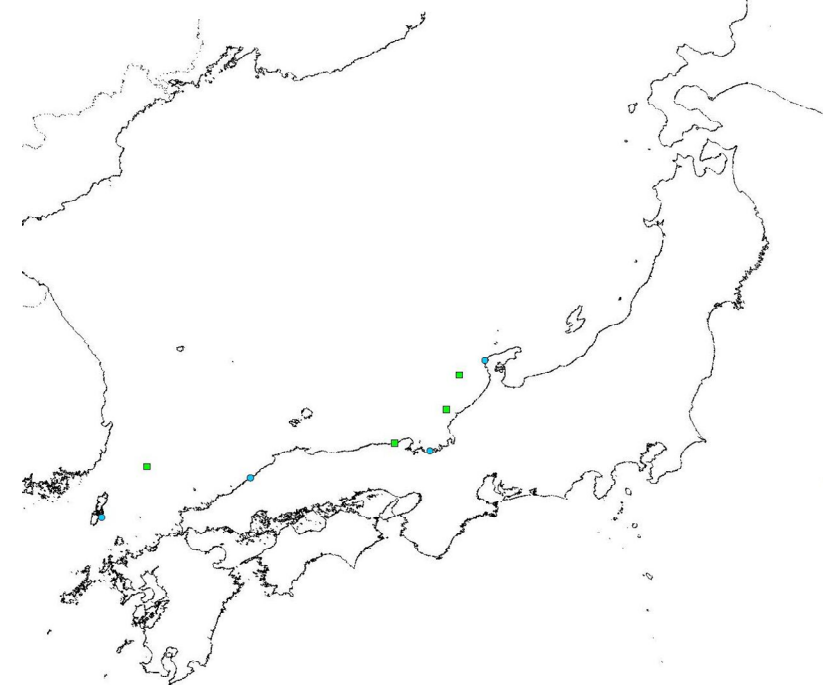
10月29日 京都府で初確認がありました。島根県は調査地で合計3個体確認がありました。サイズは比較的大型の模様。

10月31日 石川県で初確認がありました。島根県、長崎県でごく少量ですが散発的に確認があります。150cmの大型も確認されています。

11月4日 中部日本海のまき網船が1個体確認しました。福井県定置でも1個体確認しました。

この他、山陰、北部日本海の広範囲で調査を実施していますが、出現は確認されていません。引き続き少量の分布ですが**定期的に情報をご確認ください。**

2014/11/04 更新



大型クラゲの出現状況(最近2週間)

●:定置網 ■:その他漁業 ▲:調査

10月の漁況

- ・延べ操業隻数は2,052隻で前年比85%、総漁獲量は405トンで前年比69%でした。
- ・底びき網漁業の漁獲量は170トンで前年比75%でした。ハタハタとマダラは前年を上回り、タイ類、ヒラメ、スケトウダラ、ホッケ、アカエビおよびタコ類は下回りました。
- ・はえなわ漁業の漁獲量は19トンで前年比78%でした。タイ類は前年を上回り、サワラは下回りました。
- ・定置網漁業の漁獲量は103トンで前年比151%でした。サケとイナダは前年を上回り、サワラは下回りました。
- ・採貝藻漁業の漁獲量は6トンで前年比58%でした。サザエは前年を下回りました。
- ・その他の漁業では、あまだいさし網漁業のアマダイは前年を上回り、船凍いか釣漁業のスルメイカ、さし網漁業のワタリガニおよび一本釣漁業のブリ類は下回りました。

全漁業支所別漁獲量

* 前年比は平成21～25年までの平均値と比較した値です。

単位：隻、kg

支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	140	257	389	149	312	194	126	485	2,052	91%	85%
計	11,965	9,286	66,638	65,070	63,171	40,144	6,455	141,353	405,160	103%	69%
前年比	95%	101%	61%	111%	128%	118%	91%	124%	103%		
前年比	59%	87%	26%	108%	103%	116%	84%	102%	69%		

底びき網漁業

単位：隻、kg

支所	吹浦	酒田	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	24	78	90	26	175	393	104%	83%
タイ類	192	4,005	58	8	1,614	5,876	35%	34%
ヒラメ	859	763	41	33	99	1,795	29%	48%
カレイ類	1,246	3,797	4,037	2,311	4,547	15,938	105%	85%
ハタハタ	1,096	679	4,577	2,055	7,903	16,310	111%	175%
スケトウダラ	226	436	405	131	5,179	6,377	76%	17%
ホッケ	36	735	83	30	22	907	4%	3%
マダラ	175	982	860	194	63,895	66,106	226%	218%
アカエビ	139	3,053	556	191	10,325	14,264	94%	67%
ズワイガニ	1,380	3,593	4,229	1,350	4,667	15,219	110%	89%
タコ類	175	452	1,386	654	977	3,643	155%	83%
その他	1,718	5,756	4,303	1,675	9,814	23,265		
計	7,242	24,249	20,535	8,632	109,041	169,698	93%	75%
前年比	107%	49%	99%	85%	114%	93%		
前年比	49%	40%	86%	84%	93%	75%		

その他の漁業

単位：隻、kg

漁業種類	船凍いか釣漁業	さし網漁業		あまだいさし網漁業	ごち網漁業	一本釣漁業
延べ操業隻数	3	528		49	67	236
主な対象魚種	スルメイカ	ワタリガニ	ウスメバル	アマダイ	タイ類	ブリ類
漁獲量	28,376	1,034	576	1,728	9,910	9,408
前年比	70%	54%	154%	123%	108%	75%
前年比	16%	36%	91%	126%	98%	83%

はえなわ漁業

単位：隻、kg

支所	吹浦	飛島	酒田	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	20	53	17	20	35	86	136	367	84%	79%
タイ類	195		277	10	235	2,571	2,598	5,886	215%	138%
サワラ				354	335	1,174	3,302	5,165	33%	37%
マグロ類		1,935	330			6		2,271	101%	109%
その他	198	104	230	242	460	1,775	2,980	5,990		
計	394	2,039	837	606	1,030	5,526	8,880	19,311	81%	78%
前年比	139%	78%	90%	45%	27%	98%	97%	81%		
前年比	63%	85%	56%	70%	36%	85%	89%	78%		

定置網漁業

単位：隻、kg

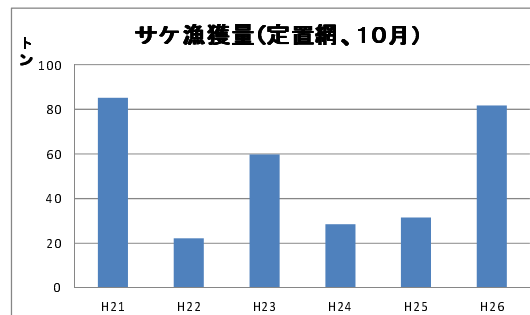
支所	吹浦	加茂	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	13	12	37	20	25	107	93%	88%
サケ	2,342	13,039	30,666	16,174	19,450	81,671	260%	180%
イナダ		321	3,640	6,177	5	10,142	113%	121%
アジ		789	1,354	533	1,465	4,140	65%	85%
サワラ		9	220	116	25	370	40%	17%
その他	428	957	2,538	1,730	529	6,183		
計	2,770	15,114	38,418	24,729	21,474	102,505	187%	151%
前年比	88%	178%	164%	180%	357%	187%		
前年比	148%	128%	123%	176%	243%	151%		

採貝藻漁業

単位：隻、kg

支所	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	138	1	7	35	17	19	40	257	71%	66%
サザエ	3,093	24	51	708	175	706	772	5,529	79%	59%
その他			13	28			4	45		
計	3,093	24	64	736	175	706	776	5,574	78%	58%
前年比	127%		30%	50%	41%	101%	42%	78%		
前年比	100%		12%	28%	22%	76%	51%	58%		

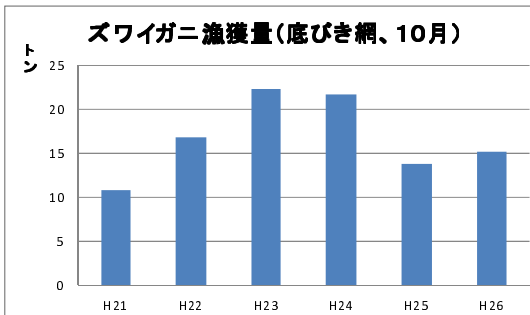
※酒田は前年の採貝藻漁業による漁獲無し（過去5年間では平成22年のみ漁獲有り）



サケ前期群の漁獲量(定置網)は、前年比260%、前年比180%と好調でした。

最上丸の調査予定(11月中旬～12月上旬)

- ・ マグロ調査、底びき網調査、沿岸観測
- ・ マグロ延縄試験を行います。
- ・ 底びき網調査を行います。
- ・ 沿岸観測を行います。
- ・ 大型クラゲの監視を行います。



ズワイガニの漁獲量(底びき網)は、解禁後は少なかったものの、ほぼ前年並みでした。

